



## デバイスの設定

このタスクを開始する前に、配布資料『[安全上の警告](#)』の「[電気機器の安全な取り扱い](#)」に記載されている安全上の警告を読み、確実に理解しておいてください。

Cisco NCS 540 の設定には、次のタスクが含まれます。

- [ルータの初期設定の作成](#) (1 ページ)
- [デバイスの取り付け確認](#) (3 ページ)

## ルータの初期設定の作成

ルータ管理インターフェイスに IP アドレスを割り当て、ルータをネットワークに接続できるようにします。

初めてルータの電源を入れると、ルータが起動し、ルータの設定に役立つ一連の質問が表示されます。ユーザが入力する必要がある IP アドレスを除き、各設定にはルータをネットワークに接続するためのデフォルトの選択肢を使用できます。



(注) これらのルータは、隣接デバイスが完全な動作状態にある場合、30分以内に起動するように設計されています。



(注) ネットワーク内の他のデバイス間でルータを識別するために、ルータの一意の名前を意識してください。

### 始める前に

- コンソール デバイスをルータに接続する必要があります。
- ルータを電源に接続する必要があります。
- 管理インターフェイス (MgmtEth0/RP0/CPU0/0 および MgmtEth0/RP1/CPU0/0) に必要な IP アドレスとネットマスクを決定します。

**ステップ1** ルータの電源を投入します。

電源モジュールユニットがルータに電力を送信すると、各電源モジュールの LED がグリーンに点灯し、ルータで使用するパスワードを指定するように求められます。

**ステップ2** システムを初めて起動すると、新しいユーザ名とパスワードが作成されます。次のプロンプトが表示されます。

```
!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!! NO root-system username is configured. Need to configure root-system username.
!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!

--- Administrative User Dialog ---

Enter root-system username:
% Entry must not be null.

Enter root-system username: root
Enter secret:
Use the 'configure' command to modify this configuration.
User Access Verification

Username: root
Password:

RP/0/RP0/CPU0:ios#
```

**ステップ3** このルータに使用する新しいパスワードを入力します。

パスワードのセキュリティ強度が確認され、強力なパスワードであると見なされない場合、そのパスワードは拒否されます。パスワードのセキュリティ強度を上げるには、次のガイドラインにパスワードが従っていることを確認します。

- 最低 8 文字
- 連続した文字（「abcd」など）の使用を最低限にするか使用しない
- 文字の繰り返し（「aaa」など）を最低限にするか使用しない
- 辞書で確認できる単語が含まれない
- 正しい名前を含んでいない
- 大文字および小文字の両方が含まれている
- 数字と文字の両方が含まれている

(注) 平文のパスワードには、特殊文字のドル記号 (\$) を含めることはできません。

**ヒント** パスワードが平凡な場合（短くて解読されやすいパスワードなど）、そのパスワード設定は拒否されます。この手順の注意事項で説明したように、強力なパスワードを設定してください。パスワードは大文字と小文字が区別されます。

強力なパスワードを入力すると、パスワードを確認するように求められます。

**ステップ4** パスワードを再度入力します。

同じパスワードを入力すると、パスワードが受け入れられます。

**ステップ5** 管理インターフェイスの IP アドレスを入力します。

**ステップ6** 管理インターフェイスのネットワーク マスクを入力します。

**ステップ7** 設定を編集するかどうかを尋ねられます。設定を変更しない場合は、**no** と入力します。

**ステップ8** 設定を保存するかどうかを尋ねられます。設定を保存する場合は、**yes** と入力します。

## デバイスの取り付け確認

Cisco NCS 540 ルータを設置したら、**show** コマンドを使用して設置および設定内容を確認できます。問題が検出された場合は、さらに設定を行う前に修正を行ってください。

### ステップ1 show inventory

例：

```
#show inventory
```

製品 ID、シリアル番号、バージョン ID などの現場交換可能ユニット (FRU) に関する情報を表示します。

### ステップ2 admin show environment

例：

```
#admin show environment
```

ルータの環境関連の情報がすべて表示されます。

### ステップ3 show environment temperature

例：

```
#show environment temperature
```

カード温度センサの温度の読み取りを表示します。各システムコントローラ、ルートプロセッサ、ラインカード、およびファブリックカードには、2 個のしきい値を持つ温度センサーがあります。

- マイナー温度しきい値：マイナーしきい値を超えるとマイナーアラームが発生し、4 つすべてのセンサーで次の処理が行われます。
  - システムメッセージの表示
  - SNMP 通知の送信 (設定されている場合)
  - トリガーされた環境アラームイベントのログへの記録 (show alarm コマンドを実行して確認できます)
- メジャー温度しきい値：メジャーしきい値を超えるとメジャーアラームが発生し、次の処理が行われます。

- センサー 1、3、4（空気吹き出しロセンサーおよびオンボードセンサー）に対しては、次の処理が行われます。
  - システムメッセージの表示
  - SNMP 通知の送信（設定されている場合）
  - トリガーされた環境アラームイベントのログへの記録（show alarm コマンドを実行して確認できます）
- センサー 2（吸気ロセンサー）に対しては、次の処理が行われます。
  - スイッチングカードでしきい値を超えた場合は、そのカードだけがシャットダウンします。
  - HA-standby または standby が存在するアクティブなルートプロセッサカードでしきい値を超えた場合は、そのルートプロセッサカードだけがシャットダウンし、スタンバイ状態のルートプロセッサカードが引き継ぎます。
  - スタンバイ状態のルートプロセッサカードがルータに存在しない場合は、温度を下げるために最大 2 分間待機します。このインターバル中はソフトウェアが 5 秒ごとに温度を監視し、設定に従ってシステムメッセージを送信し続けます。

(注) デュアルルートプロセッサカードを取り付けることを推奨します。デュアルルートプロセッサカードがないルータを使用している場合は、1 つでもファンが動作しなくなったら、ファンカードをただちに交換することを推奨します。

#### ステップ 4 hw-module location <loc> shutdown または [no] hw-module shutdown location <loc>

例：

```
#hw-module location <loc> shutdown
```

グレースフルにカードの電源を入れるかまたはシャットダウンします。

#### ステップ 5 show environment power

例：

```
#show environment power
```

ルータ全体の電力使用情報を表示します。

#### ステップ 6 show environment voltage

例：

```
#show environment voltage
```

ルータ全体の電圧を表示します。

#### ステップ 7 show environment current

例：

```
#show environment current
```

現在の環境ステータスを表示します。

**ステップ 8 show environment fan**

例：

```
#show environment fan
```

ファントレイのステータスを表示します。

---



## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。